



桐生ロータリークラブ週報

2006年

国際ロータリー第2840地区 2005-2006年度 国際ロータリーのテーマ



超我の奉仕

Service above self

R.I 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原勝樹

会長 館 盛治 幹事 川島 康雄

クラブ会報・広報委員会 木村 滋洸 藤井 征夫 佐々木 裕 吉野雅比古 石島 久司 大友 一之

6月19日号

第2572回例会

(6月12日(月) 第2例会)

- | | |
|---|--|
| 1. 点鐘 | 6. 会長の時間 |
| 2. ロータリーソング齊唱 | 7. 幹事報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 委員会報告 |
| 4. マルチブル ポールハリス フェロー | 9. 卓話「世界難民の日」について 日本UNHCR協会 国連難民高等弁務官事務所 国内委員会 常務理事 事務局長 榎川 勝也様 (総合企画特別委員会・国際奉仕委員会担当) |
| バッヂの贈呈 2回目 吉野 一郎君 ク 塚越 紀隆君 1回目 坪井 良廣君 | 10. 点鐘 |
| 5. 新規米山奨学生挨拶 サントス・アリオ・ウイボヲ君 | |

ようこそビジター

〈卓話者〉 日本UNHCR協会
国連難民高等弁務官事務所 国内委員会
常務理事 事務局長 榎川 勝也様

日より25日迄のパネル展示会の計画発表を山口総合企画特別委員長より説明をいただき承認を得られ実施に移りますので皆様のご協力をお願いします。

次に誠に残念なお話ですが、この2年間一緒に活動を共にした篠田一君の一身上の都合による6月30日の退会が承認されました。

6月8日(木)には浜松町の魚政にてロータリー情報委員会の新会員オリエンテーション並びに歓迎会が開催され、深井彰彦君・澤田匡宏君・吉田和夫君・竹内靖博君・中村純君・桑原志郎君・柳明彦君(平成17年7月~18年6月入会)の全員出席のもと、阿部ロータリー情報委員長、久保田裕一・前原正一委員のオリエンテーションに続き歓迎会に入り、懇談のうちに親睦を深めました。

6月9日(金)には桐生5RC第8回会長・幹事会(最終回となります)並びに次年度桐生5RC会長・幹事会への引継が、2840地区第2分区(A)2005~2006年森喜美男G補佐、2006~2007年大友昭久ガバナー補佐、ほか桐生5RC 2005~2006年会長幹事、桐生5RC 2006~2007年会長幹事が出席して、今年度5月27日に開催された群馬大学工学部留学生交流会の決算報告及び今年度桐生5RCの決算報告が行われ、承認され無事引継が終りました。尚2006~2007年度は桐生5RCの幹事クラブが桐生ロータリークラブとなります。金子会長・堀幹事、大変ごくろうさまです。会員皆様、次年度へのご協力をお願い致します。以上が先週の報告です。

新規米山奨学生挨拶



(米山カウンセラー
村田勝俊君より紹介)

出身国: インドネシア共和国

出身地: スコハルジョ市カルタスマ(ジャワ島、ジョグジャカルタ市まで45km)

生年月日: 1981年12月7日(24歳)

学歴: インドネシア大学に1年間在籍の後、2001年4月に来日、東京の文化外国専門学校で日本語を勉強。2002年4月より2年間、日本電子専門学校で電子応用工学科を勉強し、専門士の資格を取得。2005年4月には志望倍率の高い群馬大学工学部3年次編入試験に優秀な成績で合格し、現在4年生。専攻は電気電子工学科で昨年の米山奨学生だった林海軍君と同じ小林春夫教授の研究室に属し、アナログ回路の研究に参加している。

家族構成: 父・母・兄の4人家族
日本留学後の予定: 母国インドネシアで研究と教職に就き、自分の研究分野でインドネシアの発展に貢献したい。

会長の時間

6月5日は例会終了後本年度最後の第12回定例理事会が開催されました。主な議題の中でUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)6月20日難民の日に合せ、6月17

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/>

メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

今日は単位のイロハ、世のご婦人達のあこがれダイヤモンドの「カラット」のお話しをしたいと思います。ダイヤモンドの重さを表す単位として使われるのがカラットです。一カラットは0.2gで、日本では1909年にダイヤモンドの重量単位になりました。その語源は「豆」で、イナゴ豆だそうです。中東や南欧、アフリカなどで栽培されているマメ科植物で、英語でキャロブ、アラビア語でキラット、中世ラテン語ではカラタスと呼ばれていました。実の重さが約0.2グラムだったことから、商人が宝石を計量するための量りの分銅としてイナゴ豆を使用しまして、そこからカラットに転じたとされます。日本ではあまり目にする機会がありませんが、乾燥させるとチョコレートの味わいがするという豆で、今でも地中海沿岸地域などに行くと、子供のおやつや菓子の材料として、乾物屋などで山盛りで売られているそうです。(宝飾品通関代理店) J T C = 東京千代田=桃沢敏幸社長の話により

幹事報告

- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各RCより週報到着。
- 例会終了後、次年度理事・役員予定者会議を行います。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成18年6月12日) : 総員68名・出席47名
平成18年5月29日例会修正出席率: 72.5%

ニコニコボックス

山口正夫君・前原勝良君…日本UNHCR協会 榎川事務局長をお迎えして／村田勝俊君…米山奨学生サントス君の初参加を祝して／藤井征夫君…クラブ会報・広報副委員長を仰せつかり乍ら、一年間全く役立たずで申し訳ありません。／川島康雄君…五十嵐健雄さんに大変お世話になりました／日野 昇君…結婚祝／北川 洋君…本日夜10時より日本チームのサッカー、ワールドカップが始まります。応援宜しくお願いします。／蓮 直孝君…会員増強委員会ではなんとか所期の目的をクリア出来ました。会長、幹事をはじめ情報を頂いた方々、そして委員会メンバーに特に感謝しております。／川村 隆君…一年間会員の皆様には大変御世話に成り、ありがとうございました。

米山奨学会員会

藤江 篤会員 20,000円

卓話



「世界難民の日」について

日本UNHCR協会
国連難民高等弁務官事務所
国内委員会 常務理事 事務局長
榎川 勝也 様

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)

UNHCRは、国連の難民支援機関として1951年から活動を始め、これまでに、迫害や紛争によって故国や家族を失った5,000万人以上の難民の人々を保護し援助してきました。

1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞しています。現在、世界では1,920万人の難民の人々が困難に直面しており、保護と援助を必要としています。難民の8割は子どもや女性です。

緒方貞子氏がUNHCRの第8代国連難民高等弁務官として1991年～2000年の10年間、難民支援のため多大な貢献をされました。緒方さんはロータリー財団親善奨学生です。

スイス・ジュネーブにUNHCRの本部があり、世界117ヶ国に事務所があります。日本人職員は現在81人、その内50人が女性であり、多くが難民援助の現場で働いています。

日本にUNHCR駐日事務所があり、外務省や法務省との調整、日本における難民保護、広報などの活動を行っています。

日本UNHCR協会

UNHCRの活動資金は各国政府の拠出金と民間からの寄附によって支えられていますが、UNHCRの活動資金は恒常に不足し、計画していた難民支援のプログラムを縮小したり中止せざるを得ない事態が起こっています。そのため、UNHCRの難民支援の活動をもっと民間から支えていくという機運が世界的に高まり、アメリカ、オーストラリア、フランス、スペインなどとともに、日本でも、2000年10月に、民間からの公式支援窓口として、日本UNHCR協会が設立されました。民間の公式支援窓口として、世界の難民の人々の状況を日本の人々や学校、団体、企業に伝え、支援の輪を広げ、募金活動を行っています。

皆様からの支援を必要としています。

現在、一番急を要する支援は、アフリカのスーダン西部のタルフルールです。アラブ系民兵によるアフリカ系住民への襲撃が3年間つづいており、約200万人の人々が国内避難民として保護を必要としています。UNHCRの援助なしには生き延びることさえ難しい状況に置かれていますが国際社会の関心は低くUNHCRは深刻な資金不足に直面しています。

また、同じスーダンの南部では、20年以上続いた南北内戦が、昨年1月に和平協定により終結しました。それにより、周辺国に避難していた約50万人の難民が、スーダン南部の自分達の故郷を目指して、帰還が始まろうとしています。しかし、20年以上の内戦、国土や道路、建物は荒廃しており、診療所、学校、井戸の修復などゼロからの復興が必要です。

一方アジアでは、タイに14万人のミャンマー難民が、20年以上、難民キャンプでの生活をしています。ビルマ族とカレン族の紛争が第2次世界大戦以来、今まで、60年続いており、ミャンマーが民主化するまで、故国に帰れない状況がまだまだ続きます。難民キャンプで生まれ育ちそれ以外の世界を知らない子どもたちにとっては、教育がとても大切です。

また、ネパールにも約10万人のブルータン難民の人々が20年以上に亘り、将来への見通しのない状況にあります。昨年大地震のあったバキスタンには、まだ300万人のアフガン難民が故国へ帰還できずしております。東ティモールには、約10万人の国内避難民が支援を必要としており、UNHCRはテント、毛布、台所用品、水、など緊急支援を行っています。

このように、世界の各地で難民の人々が困難に直面しており、UNHCRの援助を必要としており、その対象者数は、現在では1920万人となっています。難民の8割は女性と子どもです。

民間からの支援

UNHCRの親善大使は、女優のアンジェリーナ・ジョリーです。日本では、森進一さんのジャガイモの会やシャンソンの石井好子さんが、永年にわたり難民支援チャリティコンサートを行い支援していただいています。また、ゴルフでは、三菱ダイヤモンドカップ、ダンロップフェニックスが、難民支援のチャリティを行っています。札幌市の富士メガネは金井社長はじめ社員も参加し、20年以上に亘り、タイ、ネパール、アルメニアなどの難民の人々10万人以上にメガネを支給しています。

「世界難民の日」

6月20日は、世界難民の日です。例えば「母の日」や「父の日」のように、この日は、難民の人々への理解を支援を深めるため、2000年12月の国連総会で定められました。今年のテーマは「希望」です。困難な生活を送る難民の人々が、未来への「希望」をもって苦難に立ち向かっていることを皆さん的心にとめていただこうという思いがあります。

日本だけが平和でいられる時代ではありません。相互依存が深まる世界においては、みんなが地球と共に生きる人間同士の連帯感を持って、困難に直面している人に思いを寄せることが大切です。「世界難民の日」に際して、難民の人々が置かれた厳しい状況に目を向け、皆さん一人ひとりが自分に何かできるかを考えなければ幸いです。

その意味で、この度、桐生ロータリークラブの主催で、6月17日～25日、桐生ガスホールで開催される『世界難民の日・写真展』は、群馬県で初めて開催される「世界難民の日」のイベントとして大変意義深く、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。